

平成25年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

I 自己評価

1 学校教育目標	誠実にして心豊かな人間性と強くたくましい身体の上で、すぐれた知識と技術・技能を兼ね備え創造性に富む実践的な産業人の育成を図る。このことを実現するために以下の3項目を指導の重点として定めた。 (1) 生徒の興味関心を喚起して確かな力を身に付けさせる教育の推進 (2) 生徒に軸足を置いた豊かな人間性を育てる教育の推進 (3) 生徒一人一人が帰属意識をもち生涯を見通した進路意識を高揚させる教育の推進
----------	---

2 評価する領域・分野	◇教育課程・学習指導
-------------	------------

3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の指導に関する生徒へのアンケートでは、「先生は熱心に学習指導・生徒指導に取り組んでいる」という問いに対して85%、「先生は専門的知識が豊富で授業内容について信頼できる」という問いに対して89%、「先生は授業の教え方や説明がわかりやすい」という問いに対して82%が「あてはまる」と回答するなど、各教員が熱心に指導し、それを極めて多くの生徒が好意的に受け止めている状況が見られる。</li> <li>・専門分野の学習に関する生徒へのアンケートでは、「(工業の専門分野を学ぶ)課題研究の時間に研究している内容は有意義である」という問いに対して89%の生徒が「あてはまる」と回答するなど、ほぼ全ての生徒が工業の専門分野に興味を持って前向きに取り組んでいる状況が顕著である。</li> <li>・その反面、保護者へのアンケートでは、「学校は生徒の理解を高めようと努力している」という問いに対して68%、「学校は授業を改善(分かりやすい授業、楽しい授業等)しようと努力している」という問いに対して66%が「あてはまる」と回答している。生徒と保護者間でやや異なった回答状況となっており、今後は保護者の理解や満足度を高める取組の必要性が感じられる。</li> <li>・生徒へのアンケートの中で、「本校ではテストの得点だけでなくいろいろな面から学習の評価を行っている」という問いに対して、「あてはまる」と回答した生徒の割合は、84%(H24)→78%(H25)と、前年度比6%減となっている。平成26年4月から本校が本格実施する総合的な学習評価(観点別評価)の導入が待たれるところである。</li> </ul>
--------------------------------	---

4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇生徒の良い点を多面的に評価することができる「総合的な学習評価(観点別評価)」の研究 ◇授業改善(分かりやすい授業、楽しい授業の実現) ◇生徒の基礎学力の向上
--------------------	---

5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・教務部(学習指導係)を中心とした実践と研究
--------------------------	------------------------

6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標
(1) 「総合的な学習評価(観点別評価)」の平成26年度からの本格実施へ向けた準備 (2) 公開授業Week、学校公開日、教育委員会訪問、各種研究授業等の機会を活用した授業改善 (3) 生徒の基礎学力向上のための朝学習(キャリアタイム)	(1) 生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果 (2) 生徒の基礎学力診断テスト等の結果

8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「総合的な学習評価(観点別評価)」の本格実施へ向けた準備</li> <li>・授業改善(分かりやすい授業、楽しい授業の実現)</li> </ul>	①平成26年度からの本格実施へ向けた準備が完了したか。 ②生徒を対象とするアンケートの結果が向上したか。	(A) B C D A (B) C D

<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の基礎学力向上のための朝学習(キャリアタイム)</li> <li>・学習の遅れがちな生徒を支援し全単位修得を目指す取組(学習特別指導や放課後学習会の実施)</li> </ul>	<p>③各教室における授業規律が、より一層向上するとともに、基礎学力診断テスト等の結果が向上したか</p> <p>④成績不良科目数が減少したか。</p>	<p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p>
<p>11 成果 ・ 課題</p>	<p>○「分かりやすい授業の展開」のために、各教員が創意工夫して授業改善を行ってきた。視聴覚機器の使用、現物提示、適切な教材の利用などの工夫もあり、ほぼすべての場面で、生徒が集中する良い授業が実施できている。その成果もあり、本年度の全校生徒に対するアンケートでは、「先生は授業の教え方や説明がわかりやすい」という問いに対して、82%以上の生徒が「あてはまる」と回答している。</p> <p>○毎日の朝学習(キャリアタイム)は定着しており、各生徒が点数を競い合っており、お互いに切磋琢磨するなど、学習習慣の確立と学習意欲の向上の一助となる場面が多く見られる。</p> <p>▲本校の卒業生にふさわしい生徒(全国の専門高校生の中でトップレベルの生徒)を育成、輩出する取組の充実が必要である。</p> <p>▲毎日の朝学習(キャリアタイム)や日頃の授業の中で、学習が遅れがちな生徒に対して、十分なフォローをする必要がある。</p>	<p>総合評価</p> <p>A (B) C D</p>
<p>12 来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度から、本校は生徒の良い点を多面的に評価することができる「総合的な学習評価(観点別評価)」を本格的に実施する予定である。これにより、生徒のやる気を一層向上させるとともに、その評価の内容を生かして各教員がさらなる授業改善につなげていく。</li> </ul>		

## II 学校関係者評価

実施年月日：平成26年1月28日

<p><b>【意見・要望・評価等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の満足度が高いのは、先生方の熱意が生徒に伝わっているからだと思われる。</li> <li>・生徒が学校を信頼している状況を、もっとPRするとよい。</li> <li>・先生と生徒の信頼関係が非常によいと思われる。</li> <li>・生徒は難しい専門科目の授業にも意欲的に取り組んでいた。</li> <li>・生徒や保護者にアンケートをとりながら、PDCAサイクルに沿って改善を進めているところが素晴らしい。</li> </ul>
---

# 平成25年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣工業高等学校

学校番号 27

## I 自己評価

1 学校教育目標	<p>誠実にして心豊かな人間性と強くたくましい身体の上で、すぐれた知識と技術・技能を兼ね備え創造性に富む実践的な産業人の育成を図る。このことを実現するために以下の3項目を指導の重点として定めた。</p> <p>(1) 生徒の興味関心を喚起して確かな力を身に付けさせる教育の推進                  (2) 生徒に軸足を置いた豊かな人間性を育てる教育の推進                  (3) 生徒一人一人が帰属意識をもち生涯を見通した進路意識を高揚させる教育の推進</p>	
2 評価する領域・分野	◇生徒指導（教育相談）	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<p>《アンケート結果より》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マナーや社会規範に関する指導を行っているかどうかについて「あてはまる」と回答した保護者は91%となり昨年度より13%増加した。生徒は90%で大きな変化はなかった</li> <li>生徒をよく理解した生徒指導については「あてはまる」の回答は90%あった</li> <li>教育相談、いじめ対応、体罰防止については20%以上の保護者が「わからない」と回答している</li> </ul> <p>《生活実態調査より》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつについて80%の生徒が「大切な行為」と回答しているが10%の生徒は「親しい人にすればよい」と回答している。この傾向は数年変わっていない</li> <li>携帯電話の使用について67%の生徒が「学校では電源を切る」または「持ってこない」と回答している</li> <li>授業には59%の生徒が「ときどき集中できない」「他ごとをしている」と回答している</li> </ul>	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<p>◇欠席・遅刻指導 始業3分前までに机につかせる。校門で遅刻防止指導（20分指導）を行う。</p> <p>◇授業規律 私語、居眠りをさせない。指導の記録を「累積指導カード」に記述し関係する全職員で指導を行う</p> <p>◇交通安全指導 傘をさして登校しない、校門の手前で一旦停止する、定期的に二重ロック指導を実施する 学年進行で交通安全教室を実施する（自動車学校協力）</p> <p>◇身だしなみ指導 定期的に身だしなみ指導を実施する、身だしなみは全職員でチェックする</p> <p>◇携帯電話指導 携帯電話の持ち込みには申請書を提出させる。携帯電話等の情報モラル教育は保護者と協力して涵養する</p>	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>全職員による組織的な指導を展開する 生徒指導委員会、特別支援教育委員会、教科担任会、各科内会議</li> <li>注意・指導記録を全職員で共有する 「累積指導カード」に記載し指導の内容と経過を全職員で共有する</li> <li>いじめに関する調査・研修を充実し、早期発見と未然防止に努める 迷惑調査、いじめ調査、懇談週間、いじめに関する職員研修</li> </ul>	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<p>(1)全職員による「登校指導、交通安全指導、身だしなみ指導」を行い規範意識の向上を図り、あいさつを励行する</p> <p>(2)主任による登校指導を率先して行い学期初めの適応指導と8時20分入室完了の徹底を行う</p> <p>(3)年7回身だしなみ指導を実施し正しい姿で学校生活を送る基礎を築く</p>	<p>(1)欠席や遅刻が昨年度より減少できたか 登校時の挨拶がしっかりできているか 左側通行、並進禁止、二重ロックなどのルールが守れているか</p> <p>(2)8時20分入室完了が守られているか 始業3分前準備完了が守られているか</p> <p>(3)身だしなみ再指導生徒が減少しているか 平生の身だしなみ規律が徹底できたか</p>	

<p>(4)累積指導を行い、日常的な生活習慣の確立と授業規律の向上を図る</p> <p>(5)迷惑調査や生活実態調査、交通安全実態調査などを行い在校生の実態を把握する</p> <p>(6)いじめに関する調査と研修を行いいじめの実態把握と早期対応を図る</p> <p>(7)保護者との連携（学校メールなど）を図る</p>	<p>(4)落ち着いた雰囲気です授業に臨んでいるか 累積指導カードが指導の共通理解に貢献できているか</p> <p>(5)あらゆる指導で、担任・学科・学年・学校全体が連携して指導に取り組めたか 各種調査結果と生徒の実態にギャップが生じていないか。</p> <p>(6)いじめの早期発見と対応ができているか</p> <p>(7)学校の取り組みが保護者に伝わっているか</p>	
<p>8 取組状況・実践内容等</p>	<p>9 評価視点</p>	<p>10 評価</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・校門指導、交通安全指導を全職員で分担し自転車安全指導やマナー指導を行った</li> <li>・授業日には風紀委員による交通安全指導、生徒会によるあいさつ運動を行なった</li> <li>・のびのびプロジェクト（11月）を通してMSLによるあいさつ運動を行なった</li> <li>・学年会毎に全クラスの身だしなみ指導を行い統一した基準で規範意識を身に付けさせた</li> <li>・累積指導を活用し授業規律や規範意識チェックと担任、学科、学年と連携した生徒の指導育成にあたった</li> <li>・本校の行事や啓発活動をメールにより保護者にも配信した</li> <li>・生徒指導ニュースを介して生活規律の啓発や職員の共通理解を図った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①組織的に登校指導、身だしなみ指導を行うことができたか。</li> <li>②欠席や遅刻を減少させることができたか。</li> <li>③生徒は進んで挨拶できているか</li> <li>④授業規律が徹底できているか（私語、居眠り）</li> <li>⑤身だしなみを平生から整えられているか</li> <li>⑤学校全体での職員間の連携が取れたか</li> <li>⑥学校の取り組みに対し保護者の理解が得られたか</li> <li>⑦生徒向け職員向け生徒指導ニュースを介して効果的に啓発できたか</li> </ul>	<p>(A) B C D</p> <p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p>
<p>11 成果・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学年会中心に身だしなみ指導が定着し指導基準の統一と公平性を保つことができた（担任の負担が軽減した、再指導生徒が減少した）</li> <li>○雨天はほとんどの生徒が合羽を着用し「傘さし禁止」がほとんどの生徒に定着することができた</li> <li>○携帯電話持込許可制（申請）にしたことにより、携帯電話の使用規律が定着できた、また許可制により保護者と協力して情報モラルに対応する体制ができた</li> <li>○11月までの欠席総数が1003人で180人減少した、また遅刻総数は540人で450人減少した</li> <li>▲11月までの交通事故報告件数は27件で昨年より4件増加した</li> <li>▲ボタンを外したり、授業規律が守れない生徒が増加した</li> </ul>	<p>総合評価</p> <p>A (B) C D</p>
<p>12 来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全職員による登校指導、交通安全指導、身だしなみ指導を継続し職員の共通行動と生徒の基本的な生活習慣の維持を図る</li> <li>○学期初めの主任による登校指導を継続し学校生活への適応化を図る</li> <li>○凡事指導を徹底する（軽微な問題行動も見逃さない。授業規律を確保する。職員の連携を高める。）</li> <li>○交通安全教室を積極的に実施し交通安全とマナーの一層の向上を図る</li> <li>○MSリーダーズ活動、のびのびプロジェクトを活性化し、校外での規範意識や交通安全意識の向上を図る</li> <li>○携帯電話の持込許可制を維持し家庭と協力した情報モラル教育を推進する</li> </ul>		

## II 学校関係者評価

実施年月日：平成26年1月28日

### 【意見・要望・評価等】

- ・問題行動の背景は？社会状況の中で生徒が抱える問題も多様化かつ複雑なことが考えられる
- ・登校時、下校時又各スポーツ選手党が挨拶をしています。
- ・自転車で下校時2列、3列で走行がよく見られます。
- ・服装も質素で取り掛かり、終了の時間など規則正しく見えます。
- ・学校行事など集合するとき早く集まれる。
- ・安全第一、安全に対する教育（企業から講師を招くのも良いかも）をしっかりとっていただきたい。
- ・コミュニケーションをとれる生徒さんが大切だと思います。

# 平成25年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣工業高等学校 学校番号 27

## I 自己評価

1 学校教育目標	<p>誠実にして心豊かな人間性と強くたくましい身体の上で、すぐれた知識と技術を兼ね備え創造性に富む実践的な産業人の育成を図る。 このことを実現するために以下の3項目を指導の重点として定めた。</p> <p>(1) 生徒の興味関心を喚起して確かな力を身に付けさせる教育の推進 (2) 生徒に軸足を置いた豊かな人間性を育てる教育の推進 (3) 生徒一人一人が帰属意識をもち生涯を見通した進路意識を高揚させる教育の推進</p>		
2 評価する領域・分野	◇ 進路指導		
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<p>・景気の低迷感が脱却しつつあるようで、高卒者の採用状況も好転に向かっている気配がある。本校の求人状況も求人数は大差ないが求人者数が増加傾向である。しかし、1社の求人数は減少しており、採用試験では、少数精鋭化がされ、実力を付ける工夫が必要である。</p> <p>・進路情報の提供や進路啓発、生徒の希望に沿った進路指導については、生徒・保護者から概ね評価いただいている。</p>		
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇ 学年部と連携した試験対策の強化とインターンシップなど全職員による進路啓発事業の効果的かつ円滑な推進。		
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<p>・主任会での意見交換・連絡調整 ・学年会との密な連携</p>		
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
<p>(1) 学び直しによる基礎学力や面接指導の強化 (2) 地元企業との連携によるインターンシップ等進路啓発事業の開催</p>	<p>(1) 就職・進学希望者の内定・合格達成度 (2) 生徒のアンケートや感想文、企業の方の評価見届け職員からの報告からその効果を確認</p>		
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価	
<p>・一般常識課題考査実施に加え、就職・進学模試の結果を受けての補習等の指導。さらに、次年度へ向けて基礎力診断テストの実施</p> <p>・外部講師による講話・ガイダンスの実施</p> <p>・就職・進学別面接指導の実施、進学ガイダンスや難関企業受験者向け就職ガイダンスの実施</p> <p>・2年生のインターンシップ事業の実施</p> <p>・大垣地域合同企業展の開催</p>	<p>①学力補充や面接指導等で、生徒の進路希望を成就させることができたか</p> <p>②生徒の地元企業の活動に対する理解や職業観が深まったか</p> <p>③生徒の社会人として望まれるマナーやコミュニケーション能力が高まったか</p>	<p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p>	
11 成果・課題	<p>○ 12月までには、ほぼ就職・進学とも希望を叶えさせることができた。</p> <p>● 求人倍率は昨年並の中、採用の一次試験不合格者数は26人となった。</p> <p>不合格理由の6割で学力の不足が指摘されており、基礎学力や日頃の学習の成果が問われており、学び直しによる基礎学力の再構築が課題である。また、積極的コミュニケーション力や意欲・元気のなさを指摘されている。</p> <p>△進学希望者の大半が推薦等で決まったが、今年は、放課後補習やセンター試験受験等の課題を課すことで、大学入学後の授業についけるようなスキルアップを試みているが、十分ではないため、さらなる今後の対策が必要である。</p>		<p>総合評価</p> <p>A (B) C D</p>
<p>12 来年度に向けての改善方策案</p> <p>○ 1年生の段階から3年間を見通し目標を生徒に立てさせ、進路実現に向けて努力させる。</p> <p>○ 外部模試や講師などを活用し、学び直しによる基礎学力やコミュニケーション力を高めるための方策を立て、難関の企業や大学に向けてチャレンジできる能力を育てる。</p> <p>○ 大学への推薦対象者が合格後も積極的に入学に向けた学力補充できるしくみを整備する。</p>			

## II 学校関係者評価

実施年月日：平成26年1月28日

### 【意見・要望・評価等】

- ・海外インターンシップは、とてもよい試みである。今後に繋げてほしい。
- ・いろいろな場面でPDCAの実施をすることはいいことである。
- ・コミュニケーション力を重視した生徒育成を期待する。
- ・女子生徒を増やせる工夫が、学校活性化に繋がると思うので、その工夫を是非お願いしたい。
- ・国内の労働者は、全体数が減少傾向にあるので、スキルを高めてほしい。

I 自己評価

<p>1 学校教育目標</p>	<p>誠実にして心豊かな人間性と強くたくましい身体の上で、すぐれた知識と技術・技能を兼ね備え創造性に富む実践的な産業人の育成を図る。 このことを実現するために以下の3項目を指導の重点として定めた。 (1) 生徒の興味関心を喚起して確かな力を身に付けさせる教育の推進 (2) 生徒に軸足を置いた豊かな人間性を育てる教育の推進 (3) 生徒一人一人が帰属意識をもち生涯を見通した進路意識を高揚させる教育の推進</p>	
<p>2 評価する領域・分野</p>	<p>◇特別活動</p>	
<p>3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等</p>	<p>・学校行事の充実について、保護者は8割近くが、「あてはまる」と回答し、生徒の回答も8割近くである。昨年の6割を大きく上回ったのは生徒の積極的に参加する意識の表れと思われる。 ・部活動の活発さについて、生徒は9割5分以上が「あてはまる」と回答しており、変わらぬ充実度がうかがえる。保護者の「あてはまる」の割合も9割5分。昨年並みにもどったが、生徒の運動系部活を避ける傾向などを鑑み、引き続き働き掛けは必要であると思われる。 ・ボランティア活動の啓発・機会提供について、保護者は6割、生徒は7割が「あてはまる」と回答している。保護者の割合が昨年より1割減となった。清掃活動などへの取組み強化を必要とするか。</p>	
<p>4 今年度の具体的かつ明確な重点目標</p>	<p>◇豊かな人間性や自ら学び考える力などの「生きる力」や「活力」ある生徒の育成に努める。〈リーダーの養成〉 ◇生徒が自発的、自治的な活動を展開し、集団や社会の一員としての自覚を深め、自己を生かす能力が育つよう指導・援助を行う。〈所属感の高揚・自主的精神の育成〉 ◇ホームルーム活動を中心とした特別活動全般を通して、学校生活への適応及び円滑な人間関係の形成を図るとともに、人間としての在り方・生き方に関する指導を充実する。〈ホームルーム活動の活性化〉</p>	
<p>5 重点目標を達成するための校内における組織体制</p>	<p>・全職員による行事への参加体制を組織する。 ・生徒が自発的に活動できる機会を提供し、分掌外職員に呼び掛ける。</p>	
<p>6 目標の達成に必要な具体的な取組</p>	<p>7 達成度の判断・判定基準あるいは指標</p>	
<p>◇生徒会 (1) 生徒会活動への積極的な参加・協力を図るため生徒会執行委員会・議会・各種委員会等の活動が円滑に行えるよう指導を行う。 (2) 各種生徒会行事への積極的な参加を促し、生徒の学校・学級への所属感及び自発的・実践的な態度を育てる。 ◇特活 (1) ホームルーム活動を通じて学級の一員としての自覚を深め、お互いを高め合う人間関係を形成する。 (2) 部活動への積極的な参加を促し、達成感及び自己成就感を味わわせることで、自己を生かす能力を育てる。</p>	<p>(1) 生徒総会、球技大会、運動会、文化祭等生徒会行事を計画・運営し、円滑に進めることができたか。 (2) 生徒総会、球技大会、運動会、文化祭等生徒会行事の取り組みに、充実感を覚えたか（アンケートによる）。  (1) 球技大会、運動会、文化祭等生徒会行事に参加するなかで、クラス単位の取り組みに、充実感を覚えたか（アンケートによる）。 (2) 年間を通して、部活動に積極的に参加したか。</p>	
<p>8 取組状況・実践内容等</p>	<p>9 評価視点</p>	<p>10 評価</p>
<p>◇生徒会 ・毎週、定例の執行部会を開き、連絡の徹底及び生徒の自発的な活動を促し、各種行事に執行部が積極的に関わるよう、事前のマニュアル作り ・当日の業務内容確認を行い、運営した。 ・毎週、火曜日から木曜日を「あいさつ運動」の日として、特活部職員・執行部員各クラス議員</p>	<p>①定例の執行部会を生徒が自主的に運営でき、各種行事が円滑に行えたか。 ②生徒のあいさつする習慣は定着したか。</p>	<p>A B C D A B C D</p>

<p>の当番で登校する生徒にあいさつを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒総会、球技大会、運動会、文化祭等生徒会行事に、取り組んだ。</li> </ul> <p>◇特活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎月の部活動実施計画・実施報告の速やかな配布・回収を行った。</li> <li>部活動の成果をDaikou-svr（サーバー）で管理し各部署で利用できるような形態を工夫した。</li> <li>部活動の表彰伝達・壮行会を執行部や応援団員の生徒の手で行うことで、生徒のリーダーとしての意識を高め、各部の努力を他の生徒にも知ってもらうことで、部活動への積極的な取り組みを促した。</li> <li>転部を申し出る、また、所属はしているが参加していない1年生の生徒に部活動への取り組みについて指導を行い、部活動への参加意欲を喚起した。</li> </ul>	<p>③充実感を覚えたか（アンケートによる）</p> <p>④部活動の活性化ができたか。</p> <p>⑤1年生の部活動全員加入を実質的に実現できたか。</p>	<p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p>
<p>11 成 果 ・ 課 題</p>	<p>○生徒総会、球技大会、運動会、文化祭等生徒会行事を円滑に運営できた。</p> <p>▲執行部の生徒達が、学校行事を運営してだけでなく、一般生徒の学校への帰属意識を高める手段・方法を考えさせる必要がある。</p> <p>▲文化祭のあり方（取り組む姿勢）について、何のための特別活動なのかの目的確認も含め、学校全体で再度検討する必要がある。</p> <p>▲1年生の部活動参加について、係から直接該当生徒に指導してきたが、引き続き、学校全体で、対策を検討する必要がある。</p>	<p>総 合 評 価</p> <p>A (B) C D</p>
<p>12 来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校全体で、特別活動に対しての意義・目的を再度確認し、組織構成、人員配置、協力体制を確立する（生徒の成長という視点での学校行事の位置づけ等）。</li> <li>部活動を3年間続けさせることに関しては、部員の活動状況の情報を共有し、クラス担任・科の職員を含め学校全体、多方面から部員（生徒）に働きかけをする体制を常態化する。</li> </ul>		

## II 学校関係者評価

実施年月日：平成26年1月28日

<p><b>【意見・要望・評価等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新聞で見られる生徒の諸活動は、すばらしい。</li> <li>太鼓部の演奏が、地域で好評である。</li> <li>生徒会・運動部・文化部とも活発で1年生が刺激を受けて頑張っている。</li> </ul>
---



# 平成25年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣工業高等学校 学校番号 27

## I 自己評価

1 学校教育目標	<p>誠実にして心豊かな人間性と強くたくましい身体の上に、すぐれた知識と技術・技能を兼ね備え創造性に富む実践的な産業人の育成を図る。</p> <p>このことを実現するために以下の3項目を指導の重点として定めた。</p> <p>(1) 生徒の興味関心を喚起して確かな力を身に付けさせる教育の推進                  (2) 生徒に軸足を置いた豊かな人間性を育てる教育の推進                  (3) 生徒一人一人が帰属意識をもち生涯を見通した進路意識を高揚させる教育の推進</p>		
2 評価する領域・分野	◇保健管理・安全管理		
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・特になし		
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<p>◇体力向上に努め、健康で安全な生活を営む態度を育てる。</p> <p>◇生徒の生活習慣や心身の健康状態を的確に把握し、自主的に健康を管理・改善できる能力の育成を目指す。</p>		
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<p>・学校保健安全委員会</p> <p>・生徒保健委員会</p>		
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
<p>(1) 生活習慣の確立と体力の向上</p> <p>(2) 保健だよりなど必要に応じて、全校生徒並びに職員に配布し、健康に関する情報提供や予防を呼びかける。また、うがいや手洗いの励行を促すとともに、教室や職員室に消毒液を常置し注意を喚起する。</p> <p>(3) 学校施設等を定期的に点検。</p> <p>(4) 学校行事や全校集会等において、秩序ある集団行動を心がける。</p> <p>(5) 職員研修会の充実。</p>	<p>(1) 欠席数等の統計、新体力テストの結果データ 保健室来室者統計</p> <p>(2) 健康診断結果、事後措置。</p> <p>(3) 点検・修繕日誌、施設使用簿</p> <p>(4) 集合整列の時間短縮</p> <p>(5) 参加者の人数、活性化</p>		
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価	
<p>・生徒一人一人の能力、適正等に応じた指導内容の重点化を図る。</p> <p>・保健だよりを定期的に全校生徒に配布し、健康に関する情報提供や予防を呼びかけた。また、うがいや手洗いの励行を促すとともに、職員室や教室に消毒液を置き注意を喚起した。</p> <p>・学校施設等を定期的に点検した。部室や器具庫の鍵の管理を徹底した。</p> <p>・学校行事や全校集会等において、秩序ある集団行動を実践した。</p> <p>・定期考査中に職員研修会を実施した。(2回)</p>	<p>① 適正な運動実践を通して体力の向上に努めることができたかどうか</p> <p>② 健康に対する意識を高めることができたかどうか</p> <p>③ 施設を合理的、効果的に利用できたかどうか</p> <p>④ 集団行動の必要性が理解できたかどうか</p> <p>⑤ 職員間の親睦と活性化が図れたかどうか</p>	<p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p> <p>(A) B C D</p> <p>A (B) C D</p> <p>A B (C) D</p>	
11 成果・課題	<p>○定期的な保健だよりのほかに、文化祭で性に関するビデオ上映を行い、大変好評であった。また、統一LHRでは学年単位でたばこの指導を行い、歯科指導においても工夫し、わかりやすい指導を心掛けた。</p> <p>○体育施設を定期的に点検し、事務室との連携により修理・補修することが出来た。(今年はグラウンドの土を補充した)</p> <p>○集団行動は、学校行事や全校集会等において、概ね時間より早く集合・整列しスムーズに進行することが出来た。</p> <p>▲新体力テストの経年変化は、2年生ではシャトルラン・反復横、3年生ではシャトルラン・50m走とび以外は向上した。また、全国平均を下回った種目は、2年生で握力・長座体前屈・シャトルラン、3年生で握力・長座体前屈・シャトルラン・50m走、1年生は握力・長座体前屈・シャトルランであった。</p>		<p>総合評価</p> <p>A (B) C D</p>

## 12 来年度に向けての改善方策案

- ・体力を向上させ、新体力テストにおいてレベルアップを図るために、カリキュラムの見直し、授業内容の検討を続けていきたい。
- ・全校生徒・職員に対し健康に関する情報提供・予防の呼びかけを工夫し、健康に対する意識を高めていきたい。
- ・部活動や施設の安全点検表を定期的に提出するようにし、事故の未然防止に努めたい。
- ・職員の厚生活動を充実させ（期日・内容等）親睦と活性化を図りたい。
- ・全職員による行事への参加体制を組織していきたい。

## II 学校関係者評価

実施年月日：平成26年1月28日

### 【意見・要望・評価等】

- ・性教育に取り組まれたのは良い。
- ・校内指導や部活動における成果は先生方の指導のお陰だと思えます。
- ・安全第一、安全に対する教育（企業から講師を招くのもよいかも）をしっかりと行って頂きたい。

# 平成25年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣工業高等学校 学校番号 27

## I 自己評価

1 学校教育目標	<p>誠実にして心豊かな人間性と強くたくましい身体の上に、すぐれた知識と技術・技能を兼ね備え創造性に富む実践的な産業人の育成を図る。</p> <p>このことを実現するために以下の3項目を指導の重点として定めた。</p> <p>(1) 生徒の興味関心を喚起して確かな力を身に付けさせる教育の推進                  (2) 生徒に軸足を置いた豊かな人間性を育てる教育の推進                  (3) 生徒一人一人が帰属意識をもち生涯を見通した進路意識を高揚させる教育の推進</p>	
2 評価する領域・分野	◇環境管理	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<p>・昨年度の生徒アンケート「地震や台風などの場合の対応についての対策マニュアルを示し、説明している。」に対し97%の生徒が肯定しているが、一方で学校評議員・保護者アンケートでは肯定が76%、「わからない」という回答が17%であり、生徒には浸透していても保護者にまでは浸透し切れていない。</p> <p>・昨年の生徒アンケートでは「清掃が行き届いており校内がきれい」、「施設・設備は学習環境の面でほぼ満足」、「ボランティア活動の大切さ教え、その機会を提供」のどれも81%の生徒が肯定している。同様の質問に対し保護者からはどれも生徒と同じまたはそれを上回る肯定的回答が得られており、特に問題はないように思われる。</p>	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇明るく清潔な学校生活(学習環境)を樹立するために、生徒一人ひとりが美化意識を持ち、清掃活動に誠実に取り組むよう指導すると共にボランティア精神の啓蒙と自ら安全管理ができるような指導を行う。また、環境委員による校内美化活動の充実(特に花壇の手入れ)を目指したい。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<p>・分掌会議(環境管理部)→企画委員会→職員会議                  ・環境美化係(環境委員会顧問)→環境委員会(各クラス1年生は2名、2、3年は1名)→全校生徒</p>	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<p>(1) 清掃活動を教育の一環としてとらえ、授業と同様、挨拶からはじめ、しっかりと取り組み、きれいになったことの喜びを知ること、ボランティア精神を啓発したい。</p> <p>(2) 防災訓練を通して、命の大切さを自覚させる。また、消防署と連携して訓練・研修の充実に努める。</p> <p>(3) 年間を通じて花壇の管理計画を立て、環境委員が、交代で花壇の世話をする。</p>	<p>(1) すべての清掃場所で整列・挨拶ができるようになったか。また、アンケートの結果より学校がより美しく整備されていると実感できるか。</p> <p>(2) 防災訓練において機敏で命を守ることができるような行動ができたか。またそのような意識が植え付けられたか。アンケートにより成果が確認できるか。</p> <p>(3) 環境委員が順に当番としての責任を果たし、葉が枯れることなく美しく管理されているか。</p>	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<p>・清掃活動への取り組みは年度当初にすべての職員に共通理解が得られるようお願いすることが最重要ととらえ、職員会議でお願いした。</p> <p>・地域清掃活動も天候に恵まれ、成果はあった。ただし、今年は地域の方々の参加は見合わせていただいた。(高齢の方ばかりで、暑い中健康が心配なため)</p> <p>・防災訓練、防災研修会は例年通り実施した。救急救命法講習は生徒の参加も呼びかけた。</p> <p>・花壇の管理は年間を通じてできた。</p>	<p>①清掃活動が、学校全体としてしっかりできたか。</p> <p>②ボランティア活動が充実したか。</p> <p>③非常時への心構えができたか。</p> <p>④すべての環境委員が責任を持って花の世話に従事できたか。</p>	<p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p> <p>A B (C) D</p> <p>A (B) C D</p>
11 成果・課	<p>○本年度のアンケート結果では「清掃が行き届いており校内がきれい」67%、「施設・設備は学習環境の面でほぼ満足」74%、「ボランティア活動の大切さ教え、その機会を提供」75%といういずれも昨年を下回る結果が出ているしかし清掃に取り組む姿は格段によくなっていると認識している。</p> <p>○7月の地域清掃に参加できない野球・サッカー部は6月に駅や公園の清掃を行</p>	
		総合評価
		A (B) C D

題	<p>い、昨年より充実していたと判断する。</p> <p>○環境委員は花壇当番の仕事のみならず、その他よく責任を果たした。</p> <p>▲防災訓練、防災研修会など外部の講師による指導は来年度から予算がつかないため縮小せざるを得ない状況となっている。</p> <p>▲救命法講習は生徒への参加を呼びかけたにもかかわらず、全体として参加者が大変少なかった。時期や方法など見直すべき時に至っている。</p>	
12	<p>来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果はよくなかったが、清掃への取り組みはよくなっていると感じているので、次年度も継承したい。</li> <li>防災研修会は廃止、防災訓練は避難訓練のみ実施するか、それにあわせて何か加えるのか今後検討したい。</li> <li>救命法講習は多くの先生に参加していただきたいが、理解が得られていない。今後の課題としたい。</li> </ul>	

## II 学校関係者評価

実施年月日：平成26年1月28日

<p><b>【意見・要望・評価等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防災対策マニュアルは、保護者会等で説明されているか。</li> <li>防災NPOなどのボランティアを使用してはどうか。</li> <li>学校周辺の清掃活動は良く行われて大変良い、一方で下校時などに紙コップなどの投げ捨てがある。</li> <li>校内の清掃が行き届いていて、生徒たちも清掃に力を入れている。</li> </ul>
---

# 平成25年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣工業高等学校

学校番号 27

## I 自己評価

1 学校教育目標	誠実にして心豊かな人間性と強くたくましい身体の上、すぐれた知識と技術・技能を兼ね備え創造性に富む実践的な産業人の育成を図る。 このことを実現するために以下の3項目を指導の重点として定めた。 (1) 生徒の興味関心を喚起して確かな力を身に付けさせる教育の推進 (2) 生徒に軸足を置いた豊かな人間性を育てる教育の推進 (3) 生徒一人一人が帰属意識をもち生涯を見通した進路意識を高揚させる教育の推進	
2 評価する領域・分野	◇図書	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・特になし。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇心豊かな人間性の育成をめざし、読書環境の整備に努め読書指導に当たるとともに、生徒の主体的学習活動を支援する学習・情報センターとして図書館の施設・設備の活用と情報化社会に対応した図書館教育を推進する。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・図書館教育研究会の設置	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 朝読書週間および校内読書感想文コンクールの開催・「どくしょ甲子園」への応募 (2) 図書館管理システムや調べ学習などにおけるインターネットの利用など情報化社会に対応 (3) 図書資料・視聴覚機器等の充実	(1) 読書感想文の取り組み状況および外部コンクールにおける評価 (2) 書籍の貸し出し状況および授業等における図書館利用状況 (3) 各分野バランスのとれた蔵書の充実	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
・新入生の図書館オリエンテーションを実施したほか「図書館だより」「新着案内」を発行 ・全職員および国語科の協力を得て朝読書と校内読書コンクール・「どくしょ甲子園」応募を実施 ・視聴覚室の管理、教材、機器の管理に努める	①図書館利用状況 ②生徒の取り組み状況 ③視聴覚室、視聴覚機器等利用状況	A (B) C D A (B) C D A (B) C D
11 成果・課題	○校内読書感想文コンクールおよび朝読書に対し全職員の協力が得られた。 ○国語科の協力を得て1年生全員3年生一部が「どくしょ甲子園」に応募した。 ○頻繁に利用する生徒や熱心に読書する生徒の姿が見られた。 ○授業時や放課後等、学習・情報センターとして利用された。 ○全体としての利用件数は増加した。 ▲利用している生徒が固定化する傾向がある。利用される書籍はライトノベルが中心で、読書の「質」の向上に向けた指導が、今後も必要である。	
12 来年度に向けての改善方策案	・生徒の視点に立った図書館運営と図書の充実をはかり、生徒の読書意欲をより向上させる、魅力ある図書館を創造する。 ・視聴覚室の整備、視聴覚機器・教材の充実をはかり、利用しやすい環境を整える。	

## II 学校関係者評価

実施年月日：平成26年1月28日

【意見・要望・評価等】 ・コンピュータ化された施設で、快適な利用ができる図書館である。
--

# 平成25年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣工業高等学校

学校番号 27

## I 自己評価

1 学校教育目標	<p>誠実にして心豊かな人間性と強くたくましい身体の上で、すぐれた知識と技術・技能を兼ね備え創造性に富む実践的な産業人の育成を図る。</p> <p>このことを実現するために以下の3項目を指導の重点として定めた。</p> <p>(1) 生徒の興味関心を喚起して確かな力を身に付けさせる教育の推進                  (2) 生徒に軸足を置いた豊かな人間性を育てる教育の推進                  (3) 生徒一人一人が帰属意識をもち生涯を見通した進路意識を高揚させる教育の推進</p>	
2 評価する領域・分野	◇ 渉外	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<p>《アンケート結果より》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校は、保護者が授業や学校行事等を参観する機会等をよく設けている。本年度は全国高等学校PTA連合会山口大会、東海高等学校PTA連合会静岡大会にて県代表として発表を行い、高い評価を得ることができた。</li> <li>・学校の施設・設備は、学習環境の面でほぼ満足できる。朝学習の実施を継続し行われ、生徒が落ち着いた姿勢で取り組んでいる。学校公開日には役員の方のご厚意により全国大会の報告や講話をいただくことが出来た。多くの保護者の方も参加いただきよく理解を得ていることが分かる。</li> </ul>	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<p>◇ 育友会員（保護者）に、学校教育活動における生徒の様子や実態について正しい認識を持ってもらい、学校行事などを通じて積極的な協力が得られるように努める。又、全国発表の課題にもしたい。</p> <p>◇ 保護者との連絡を密にし、家庭や地域での生徒の健全な育成に努める。（地区懇の有り方を検討する）</p>	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・ 渉外部の職員の意識を高め、校内の各分掌と連携を図りながら、全職員の協力のもとで組織的に運営する。	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<p>(1) 育友会への参加を意味あるものとし、会員の出席が増加するように工夫する。</p> <p>(2) 学校行事への参加の在り方を工夫し保護者の理解を得て積極的な参加を促し、育友会の各委員会の活動をもっと積極的にする。</p> <p>(3) 学校行事などに、育友会員に積極的に参加していただくように工夫して、積極的に呼びかけを行い工夫する。</p>	<p>(1) (2) (3) より多くの育友会員（保護者）に育友会関連行事に参加して頂けるか。（携帯メールの積極的活用）</p> <p>育友会の行事をアピールし理解いただき、各行事への積極的な運営を促す。</p>	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育友会総会時に一年間の行事が印刷されたカレンダーの配布を行い出席率の向上を図った。</li> <li>・ 地区懇談会（事前の打合せ、反省会を含めて）では、昨年度の反省点を踏まえて、資料を見直し、より多くの出席が得られるように働きかけをした。</li> <li>・ 育友会による文化祭バザーにおいて、生徒、役員の協力体制を前面にした取り組みをした。</li> <li>・ 事故発生時の適切な処置および全高P連賠償責任補償制度（生徒賠償責任保険、PTA管理者賠償責任保険）の全員加入をした。</li> <li>・ 育友会の独自の行事に積極的に取り組んだ。</li> </ul>	<p>①昨年度よりの試みであったが僅かでしたが出席率の向上には繋がった。</p> <p>②懇談会当日だけでなく、事前の打合せや反省会にも多くの出席者が得られ、保護者からの提言や学校からの情報発信のよい機会となった。</p> <p>③育友会員（保護者）の多くの協力が得られた。</p> <p>④安全会という呼称で利用されている。</p> <p>⑤11月の学校公開日に合わせて全国大会の報告や役員講演会の開催に際した。</p>	<p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p> <p>(A) B C D</p> <p>A (B) C D</p> <p>(A) B C D</p>

11 成 果 ・ 課 題	<p>○育友会総会時に配布したカレンダーは、僅かではあるが出席率向上に繋がった、学校への理解を深めるために来年度も継続を考えたい。</p> <p>○地区懇談会においては、昨年度の地区委員の方からスムーズに引継ぎが行われて、昨年度とほぼ同様の出席率が得られた。家庭と学校との連携が効率的で活発な場となり、相互理解と健全な生徒の育成に努められた。また、懇談会で話し合われた内容については、学校の関係分掌で再確認し、まとめたもので反省会を行い育友会広報誌（わかもり）で各家庭に配布した。 （来年度は形を変えて実施し、非常時の安全確保、及び生徒による災害時の活動について積極的に対策を考えていきたい。）</p> <p>○文化祭バザーにおいて、来年度は育友会役員と生徒（部活動、クラス）が一体化した実施を定着させたい。他に部活動激励会においても役員の協力が得られた。</p>	<p>総 合 評 価</p> <p>A (B) C D</p>
-----------------------------	--	---------------------------------

<p>12 来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育友会総会の出席率向上のために、過去数年において学校の特色を生かして工夫をしているが、変化が少ない。携帯メールを有効に活用してさらに検討したい。</li> <li>・学校全般で携帯メールによる広報が活発になり、育友会に関しても継続的に進めたい。</li> <li>・災害時における生徒の地域貢献（検討中）に対して保護者の理解を得たい。</li> </ul>
--

## II 学校関係者評価

実施年月日：平成26年1月28日

<p>【意見・要望・評価等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA活動の活発化が見られてよい。</li> <li>・育友会活動が学校行事等で多くの保護者の参加をうながし、保護者の見識を高められるよう願っております。</li> </ul>
---

# 平成25年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣工業高等学校

学校番号 27

## I 自己評価

1 学校教育目標	<p>誠実にして心豊かな人間性と強くたくましい身体の上で、すぐれた知識と技術・技能を兼ね備え創造性に富む実践的な産業人の育成を図る。</p> <p>このことを実現するために以下の3項目を指導の重点として定めた。</p> <p>(1) 生徒の興味関心を喚起して確かな力を身に付けさせる教育の推進                  (2) 生徒に軸足を置いた豊かな人間性を育てる教育の推進                  (3) 生徒一人一人が帰属意識をもち生涯を見通した進路意識を高揚させる教育の推進</p>	
2 評価する領域・分野	◇工業	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<p>《保護者・生徒アンケート結果より》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「外部講師の講演や様々な体験活動など授業以外の学習の機会が多い」については、保護者は67%、生徒は89%があてはまるという評価をしている。昨年と比較すると保護者が13ポイント低下している反面、生徒は7ポイント上昇している。自分自身に対しての学習であると捉えている生徒が増加した。</li> <li>・「資格取得を奨励し、補習などによる積極的な援助」については、保護者の92%、生徒の97%が高い評価をしており、資格試験に対する日常の指導が理解されていると思われる。生徒の回答でわからないと答えているポイントが0なので、評価は高いが全体の合格者数が増えていないので、今後は合格率も上げていきたい。</li> <li>・「安全教育」については、保護者の76%、生徒の95%が高い評価をしている。生徒は日頃の実習前の整列点呼時や実習中の教職員の安全教育指導に対して理解していると思われる。</li> </ul>	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<p>◇教科指導をとおして職業観・勤労観を育成し、心豊かな人間性とたくましく生きる力を育てる。</p> <p>◇大垣市や地元の企業・大学等教育機関との連携により、地域産業のニーズに応じた実践力と協調性のある人材を育成する。</p> <p>◇出前授業やものづくり体験等を通して、生徒のコミュニケーション能力の向上を図るとともに、地域や小中学校の児童生徒・保護者へ工業教育をPRする。</p> <p>◇授業を通して安全教育を推進すると共に、実習時の事故災害の未然防止を図る。</p>	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<p>・工業部 → 学科主任会（課題研究、資格試験、産振設備備品出前授業、テクノ・コラボレーションの各担当）                  工業庶務（渉外・会計・広報・大垣市との連携調整）</p>	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<p>(1) 地域と連携した活動の推進</p> <p>① テクノ・コラボレーション                  ② 大工Day                  ③ 出前授業                  ④ 大垣市との連携                  ⑤ 地域イベントへの参加</p> <p>(2) 教育機関と連携した活動の推進</p>	<p>(1) 各行事に参加した生徒の反応と感想                  各行事で実施したアンケートの評価</p>	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の課題研究テーマまたは部活動テーマとして、大垣特別支援学校の先生方と協同して、障がい者用教材の作成を行い12月17日に贈呈式を行い寄贈した。</li> <li>・7月27・28日に「大工Day」と銘打って、大垣市内3ヶ所の商業施設で、各学科および理科部の参加によりブースを設けて、作品の展示やものづくりなど来場者に体験してもらえ活動</li> </ul>	<p>①他人を思いやれる心を育成し、「人にやさしいものづくり」を考える力を深化させることができたか。</p> <p>②生徒が外部の人と対応することにより、実践的なコミュニケーション能力が身に付いたか。</p>	<p>A (B) C D</p> <p>(A) B C D</p>



<p>を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>西濃地区の小中学校の授業の一環として、本校の教員や生徒が講師となって授業を行う「出前授業」について、小学校4校・中学校8校・特別支援学校1校から申込みがあり、各校と調整を取って実施した。</li> <li>大垣市や各種団体の依頼により、地域で実施される地域おこしのまつりやイベントなどに、本校の部活動の成果の発表、ものづくり体験コーナーなどを設置し、地域の人達と交流した。</li> </ul>	<p>③小・中学生に対して工業高校への興味・関心を喚起し、本校の広報の一助とすることができたか。</p> <p>④生徒が外部の人と対応することにより、実践的なコミュニケーション能力が身についたか。</p>	<p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p>
<p>11 成果 ・ 課題</p>	<p>○地域の住民や小中学生・保護者に工業教育並びに大垣工業高校のものづくりが浸透し、身近に感じてもらえるようになった。</p> <p>▲活動の多様化に伴い、職員・生徒の負担が大きくなっている。また、生徒の学習や資格取得・課外活動などに対して取り組む姿勢に大きな差が見られ、学校全体の活動として取り組みきれなかった。</p>	<p>総合評価</p> <p>A (B) C D</p>
<p>12 来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界で活躍できる人材の育成を全面に出し、全ての生徒に対して実践的な力をつけさせる方策を充実させていくとともに、意欲的な生徒に対してはさらに高度な能力を身につけられるような場面を設定する取り組みを図っていく。</li> <li>SSHまたはリーディングプロジェクトを通し、地域や企業・大学等他の教育機関との連携をさらに充実させ、より多くの生徒が充実感と達成感を持ち、地域に対し本校がものづくり人材育成の場として理解され、積極的な後援を得られるようにする中で、ものづくりに強い興味・関心をもち将来リーダーとして活躍する意識の高い優秀な人材が集まるような方策を図っていく。</li> </ul>		

## II 学校関係者評価

実施年月日：平成26年1月28日

<p>【意見・要望・評価等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域からの協力要請が多様化している中、生徒教職員とも良く奮闘されている。</li> <li>出前授業で手作りソーラーカーを教わり、地位この小学生が夏休みに西地区センターにてソーラーカーを作り走らせて楽しんでます。</li> <li>文化発表（課題研究発表）では各専門分野の作品がみられ、説明も自信をもって話しており、頼もしさを感じました。</li> <li>安全第一、安全に対する教育（企業から講師を招くのもよいかも）をしっかりと行っていただきたい。</li> <li>コミュニケーションをとれる生徒さんが大切だと思います。</li> </ul>
---